

おおたに通信

創刊号

平成30(2018)年
1月発行



島の病院おおたに
ISLAND HOSPITAL OTANI

部署 紹介

地域連携室

地域連携室は入院から退院まで、退院から地域へ切れ目のない医療の提供の為に院内・院外の連絡調整を行います。地域の医療機関との連携を密にし、相互の診療や患者様の紹介など患者様がスムーズに医療機関へ受診・入院または退院・転院することができるよう、医療機関、介護施設をはじめ行政や福祉に関わる施設をつなぐ役割をします。

また、患者様、ご家族様からの受診・入院・入所に関わる相談や「入院費がどれくらいかかるか」「退院後の生活が不安・心配」等お困りのことの相談も対応しております。

今後は高齢化が進む地域において、可能な限り住み慣れた地域や自宅で自分らしい生活ができるよう、それを実現できる仕組み、体制（地域包括ケアシステム）が構築できるようお手伝いをする事も地域連携室の役割だと考えております。昨年、江田島市で発足した地域包括ケアシステム構築に向けたワーキングチームに、他の医療機関や福祉・介護事業所と共に参加し、仕組み作りから携わっております。



(左から順に) 岡本久恵・主任 山下ひとみ・山下裕次郎

今後も入退院支援にとどまらず、積極的に活動していきたいと思っております。

編集後記

この度、創刊号となる院外広報誌「おおたに通信」を発行でき、うれしく思います。今回は、当院の紹介ページを設けました。左側には病院として新しくなった部分や病院としての強みを、右側にはリゾートホテルのようなゆったりとできる空間などを紹介しております。4月に今年度の広報委員が集まって以来、委員一同手探りで誌面作りに取り組んで参りました。皆様楽しんでいただければ、今後も頑張りますので、これからも宜しくお願い申し上げます。



島の病院おおたに

〒737-2301 広島県江田島市能美町中町4711

☎0823-45-0303(代)

診療時間 午前 9:00~12:00
午後 2:00~ 6:00

休診日: 日曜・祝日・土曜日午後

病院理念と基本方針

安心して喜ばれる
地域医療

- 普段着のような医療
- 生活を見つめる医療
- 人間性を尊重する医療
- いつも見つめる医療
- 納得を大切にする医療

<http://otani.or.jp/>

島の病院おおたに

検索



ごあいさつ



島の病院おおたに
ISLAND HOSPITAL OTANI

院長 大谷 まり



当院は昭和18年に発足し、平成15年には医療法人社団大谷会を設立して発足以来約70年間にわたり、ご愛顧頂いて参りました。

この間、「安心して喜ばれる地域医療」の病院理念の下、CARP (change・action・resilience・persevere) の精神 (～変化を続け、行動に移し、秘めた力で、目的を貫く) をモットーに地域医療の中核を担うべく職員一丸となって日々研鑽を重ねております。

この度、“島でねばる”医療を目指し江田島市内の能美町中町へ移転・開院する運びとなりました。移転に伴い「大谷リハビリテーション病院」から「島の病院おおたに」に名称変更し、リハビリテーションは勿論のこと患者様個別の多様なニーズに対応する病院として、この病院の名前にしました。

新しい病院は海をみながら大自然を体感して頂き、リラックスできる環境です。絶好のロケーションと言えるでしょう。また、院内は瀬戸内らしい優しい色合いにし、心穏やかにすごしていただけるようにしました。病棟は、個室を中心に患者様に満足していただけるよう病室を配置、元来のポータブルトイレを廃止し、水洗式のポータブルトイレの設置、清潔で不快のない療養環境整備などにこだわっています。

新病院のコンセプトは第1に「病院らしくない病院」を創り上げることです。島の皆さんはもちろん、島外からの方もリラックスできる優しい環境を目指しました。第2に0歳から100歳を超える幅広い年齢層や疾患に対応するため定期的な専門外来を設けること、CT、MRI、マンモグラフィーなどの画像診断機器を設置し江田島市内でも検査や検診が受けられるようにすることで“島でねばる”プチ総合病院化計画を実行していくことです。

今後は高齢化が加速する一方のこの島では認知症ケアや在宅ケアも課題となっています。これには地域の方々、行政と共に協力することが重要です。地域行政医療連携を目指していきます。

同時に専門機関での検査、治療に早急に対応していただくためには病診連携が大切なことは言うまでもありません。この島の中心で、連携できる体制づくりを継続し、島のためにも医療に貢献することを挑戦し続けたいと思います。

常勤医師紹介



院長
総合診療科・内科・小児科
おお たに
大谷 まり



副院長
総合診療科・内科・泌尿器科
こばやし たつ や
小林 達也



内科・消化器内科
こ せ かす ひろ
小瀬 和洋



内科・消化器内科
たけ ざき えい いち
竹崎 英一



理事長
整形外科・AKA
おお たに ひろ あき
大谷 宏明



副院長
整形外科
リハビリテーション科
あ そう とも ひろ
麻生 智洋



島の病院おおたに
整形外科
つ やま きみ たか
津山 公孝



総合診療科・外科・乳腺外科
やす い だい すけ
安井 大介

大谷リハビリテーション病院 から
Ootani Rehabilitation Hospital



島の病院おおたに ISLAND HOSPITAL OTANI へ

新しく導入

CT (16列)、マンモグラフィ、MRI (1.5T) を新たに導入し、通常の検査や健康診断、救急患者の診断をより精密に行うことが可能となりました。



診療の充実

一般外来では、6つの診察室のうち、小児科用診察室には専用の待合室、点滴室を設け、お子様とご家族が安心して受診していただけるようになっております。内視鏡検査室も新たに設け、上部は経口内視鏡、経鼻内視鏡のどちらでも検査いたします。下部内視鏡の待合は、トイレ付の個室をご用意しております。



リハビリ

1か所のみであったリハビリテーション室は、外来、各病棟に設けることでより効率よく行うことが可能になりました。またリハビリテーションを兼ねた屋上庭園を設けました。砂浜に隣接しているため、屋外での歩行訓練もより心安らく環境が整っております。



おおたにホール

4階に設けた「おおたにホール」は従業員の全体朝礼や病棟でのレクリエーション会場となるだけでなく、一般の方々との交流の場として市民公開講座の開催、災害時には避難所として利用いたします。



照明・待合

患者様が安心して診察、療養していただけるように間接照明を採用しました。瀬戸内海をイメージした外来の待合は、様々な患者様に対応できるよう高さの異なるソファを配置し、落ち着いた空間を創りました。



におい

病棟で気になるのがにおい。当院ではポータブル水洗トイレを採用しました。トイレまで移動することが困難な患者様の症状に応じて設置場所を変更でき「においが気にならない」「近くにトイレがあって安心」と好評をいただいております。



景色

4階のカフェテラスからは長瀬海岸が一望でき、その向こうには江田島特産の牡蠣筏が浮かんでいます。穏やかな波で気持ちが落ち着きます。2、3階のリハビリエリアや一部の病室からも景色を見ることができます。



ユニホーム

病院移転を機に、ユニフォームを新調しました。瀬戸内の海をイメージした生地をそれぞれに採用することで統一感のあるデザインとなりました。



市民講座

乳がんについて



座長
島の病院おおたに
医師
安井 大介

日時 7月1日(土) 13:00~16:00
場所 おおたにホール

当院で初めての市民講座を4階おおたにホールにて開催しました。

「乳がん」をテーマとし、県立広島病院 乳腺外科部長の松浦一生先生と形成外科部長の新保慶輔先生に講演していただきました。

お二人の先生に乳がんの診断、治療、手術、乳房切除後の再形成についてわかりやすくご説明いただき、20代から80代の100名以上の市民の方にご参加いただきました。

講師



県立広島病院
乳腺外科部長
松浦 一生 先生

県立広島病院
形成外科部長
新保 慶輔 先生

当院では



乳腺外科医の安井大介医師が勤務医となり、新築移転とともにマンモグラフィーを導入しました。江田島市の方々が検診や慢性時期のフォローを安心して受けていただけるようこれからも医療提供させていただきますと思います。

プラセンタ講演会



座長
島の病院おおたに
院長
大谷 まり

日時 9月3日(日) 13:00~16:00
場所 おおたにホール

9月3日(日)に健康プラセンタをテーマとした土橋病院院長 土橋 美子先生に講演していただきました。

プラセンタと言えば女性が美容のために使用するものと思われがちですが、先生の講演では、自律神経を調節したり、炎症を抑える効果、免疫を正常にする作用など医療としての効果が優れているというお話でした。

講演の後に行われた意見交換会では、たくさんの質疑応答があり、とても有意義な講演会となりました。

講師

土橋病院 院長
土橋 美子 先生

トピックス

院内活動



納涼祭



地域で活躍されている「こでまりフラワーズ」「スマイルバンド」の皆様をご招待して当院で公演を行ないました。

フラダンスで馴染みの曲を踊ったり、バンド演奏していただき、患者様とともに楽しみました。

当日は、各病棟から参加された患者様で満員となりました。今後も、当院では地域とのつながりを大切にしていきたいと考えています。

ケアカフェ

6月14日江田島市の医療福祉職員を対象としたケアカフェを当院食堂にて開催しました。江田島市内で今回7回目の開催となります。

医療・福祉の職種に加えて、行政や福祉業者など多職種85名の方が、テーマ「地域とできること」について語り合いました。



日頃の業務では知り合えない職種の方同士が同じテーマに沿って時間いっぱいお話を楽しまれました。

災害対策訓練

9月21日(木)、江田島市災害対策訓練に災害拠点病院として参加しました。

土砂災害を想定し、江田島市消防本部、医師、看護師、住民の皆様と協力して行ないました。



NEWS

株式会社 TOTO の研究誌「病院と福祉のトイレ」に取材・掲載されました。

